

4限で実施された教養基礎演習Ⅲの授業において、見学者としての立場での感想を述べたいと思います。

授業冒頭で、中島総長先生の方から、2年生ですが、コツコツやることによって公務員試験は合格できるのでしっかり頑張ってエリートになってください、という挨拶をいただきました。

授業の進め方については、ご担当された野口先生が、共有画面を利用し、しっかりと準備された教材を利用し、非常にテンポよくご指導されていらっしゃるのがとても印象的でした。

講義の途中で、中島総長先生の方から、解説部分の教え方について、講師が解説し過ぎると学生が混乱してしまう、読めばわかるので必要以上に解説しないようご指導がありました。

今回実施された数学という科目は、本学に所属する学生のみならず、文系の学生にとって理解できるようになるまで大変時間がかかる科目であり、中島総長先生が常日頃おっしゃられているように、数的処理を中心とした理系科目で高得点を取ることができれば、公務員試験を突破することは容易であるため、理系科目の担当者としては、学生の進路を左右する大きな役割を担っていることを自覚する必要があります。

その点において、学生に理解させることこそが重要であり、必要以上に解説を加えている部分が生じてしまっている部分については、自身の講義でも中島総長先生にご指導いただいた部分であり、自分ではなかなか客観的に感じとることができない部分でもあったため、今回の野口先生へのご指導を拝見し、自らも大いに反省する必要性を感じた場面でした。

また、中島総長先生から、正解の選択肢をしっかりと読んで暗記するようにご指導があり、そのご指示に従って野口先生が指導されると、学生も理解が深まっていく様子うかがえました。

最後に、確認テストにおいて無事全員満点をとることができました。引き続き適切なご指導をいただきながら、公務員試験において1人でも多くの学生を合格させることができるよう指導していきたいと思っております。